

**令和6年度第2回小牧市児童館運営委員会
会議録**

日 時	令和7年2月7日（金）午前10時10分～午前11時40分
場 所	ラピオ4階 まなび創造館 多目的室
出席者	<p>【委員】7名（※敬称略） 植松 浩二郎、中島 智子、長谷川 留美子、倉知 日出美、古賀 愛乃、長谷川 由加里、丹羽 和子</p> <p>【事務局】15名 こども未来部長、こども未来部次長、多世代交流プラザ所長、指導保育士、多世代交流プラザ事業推進係長、多世代交流プラザ事業推進係児童館担当、こまきこども未来館副館長、子育て世代包括支援センター副所長、小牧南児童館長、小牧児童館長、西部児童館長、味岡児童館長、篠岡児童館長、大城児童館長、北里児童館長</p>
会議内容	<p>1 こども未来部長あいさつ</p> <p>2 報告</p> <p>（1）令和6年度 児童館の現状報告について</p> <p>（2）令和6年度 児童館・子育て支援室利用について</p> <p>（3）児童館利用者アンケートについて</p> <p>（4）児童館ガイドラインの改正について</p> <p>（5）こども計画の策定について</p> <p>3 議題</p> <p>（1）令和7年度 児童館活動方針・活動目標（案）について</p> <p>（2）令和7年度 児童館クラブ活動・行事計画（案）について</p> <p>（3）令和7年度 児童館の子育て支援（案）について</p> <p>（4）モニタリングシートの改訂について</p>
事務局	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>お忙しい中、また、雪が降っており大変足元の悪い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>委員会に入ります前に、お手元の訂正資料について説明いたします。</p> <p>前回、第1回目の児童館運営委員会の時にお配りした資料1－1令和5年度の児童館利用実績報告書内、こまきこども未来館の利用者実績において、集団指導と体力増進の内訳が個人任意利用者数に重複して計上されておりました。大変申し訳ありませんが、前回お配りした資料の差し替えをお願いします。</p> <p>それでは改めまして、ただいまより令和6年度第2回小牧市児童館運営委員会を開催させていただきます。</p> <p>はじめに会議の定足数について、児童館の管理運営に関する規則第15条2項で過半数の出席が必要とされておりますが、本日は7名の出席ということで過半数を超えており、会議は成立しております。</p> <p>また、小島委員、鈴木委員、熊澤委員からは事前にご欠席の連絡をいただいておりますので、申し添え致します。</p> <p>なお、この会議は公開となっておりますが、本日は傍聴の申し出がありません。</p>

	<p>それでははじめに、こども未来部長の川尻より挨拶を申し上げます。</p>
こども未来部長	<p>おはようございます。本日は雪の降る大変お寒い中、第2回の児童館運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>また、皆様方には日頃から児童福祉行政の推進にご支援、ご協力いただきましてありがとうございます。</p> <p>さて、本日の議題にもありますが、こども基本法の施行を踏まえまして、7年ぶりに児童館ガイドラインが改正され、各児童館は4月から新たなガイドラインに沿った運営をしていくことになります。</p> <p>こどもの権利や意見の尊重、中・高生の居場所づくり、配慮を必要とするこどもへの対応など新たな役割が示され、今後も地域における児童館の役割はますます必要性が増すことになります。</p> <p>小牧市においても、児童館がこどもにとって安心して過ごすことができる場所となりますよう、現在策定中の小牧市こども計画の内容を見直し、改めて取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>本市における子育て支援の拠点として、こどもにとって安心できる場所として、児童館、こまきこども未来館ともに今後ますます発展していくためにも、委員の皆様方にはそれぞれの立場から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここからの進行につきましては、規則に委員長が会議の議長となることが規定されておりますので、植松委員長よりお願い申し上げます。</p>
委員長	<p>早速次第に従いまして、報告事項に移らせていただきます。</p> <p>(1) 令和6年度児童館現状報告、並びに(2) 令和6年度子育て支援室の利用状況について、一括で報告をお願いします。</p>
未来館副館長	<p>それでは、(1) 令和6年度児童館の現状報告について、説明いたします。お手元の資料1-1をご覧ください。</p> <p>こまきこども未来館のコンセプトは「また来たくなる未来館～未来リテラシーを育む～」です。令和6年度は特に子と親の気持ちに寄り添いコミュニケーションを大切にし、未来館と職員が居場所となれるようにするという点を目標にしてきました。市内、市外と様々な方が未来館へ来館されますが、どの方にとっても「楽しい」「また来たい」「ホッとする」と思えるように心がけてきました。</p> <p>次に、児童館ガイドライン第4章「児童館の活動内容」に照らし合わせて報告いたします。</p> <p>「遊びによるこどもの育成について」ですが、来館者が興味を持っていることやチャレンジして記録を更新できる遊びを提供し、楽しかった、またやりたいと思えるようにしています。</p> <p>「こどもの居場所の提供」について、中高生の意見を聞く機会を作った結果、中高生の利用が増えてきました。</p>

	<p>「こどもの権利や意見を尊重した活動の実施」では、未来館内を走ることに ついてなど、問題が起きた際に、単に大人が禁止と判断するのではなく、 こどもたちの意見を聞いてこども達自身とともに考えていくことを意識しま した。</p> <p>「配慮を必要とするこどもへの対応」は支援の必要なお子さんをお持ちの 親子対象に親子利用 DAY を今年も 2 回行いました。利用者から「日ごろ順番 を待つことが難しいが、今日は利用者が少ないので気兼ねなく遊べてよかつ た」との言葉をいただいております。</p> <p>「子育て支援の実施」では子育て包括支援センターと連携をとっており、 「地域の健全育成の環境づくり」、「ボランティア等の育成と活動支援」では 未来館のコンセプトを理解している企業をパートナーシップ企業とし、サポ ーターなど未来館を支えてくれる方を大事にして輪を広げています。</p> <p>以上で未来館の現状報告を終わります。</p>
<p>小 牧 南 児 童 館</p>	<p>小牧南児童館は「ふらっとみなみ」の愛称で親しまれております小牧市南 部コミュニティセンターとの併設館で、「すべてはこどもたちの為に」を合言 葉に運営を行っております。資料は 2-2 をご覧ください。</p> <p>令和 6 年度の施設目標を「地域ぐるみの子育て～児童館の周知活動及び地 域との連携強化～」とし、目標を達成するための行動計画として「利用者ニ ーズの調査」「地域連携の促進」「職員の資質向上」を掲げました。</p> <p>児童館ガイドラインには児童館の特性として「拠点性」「多機能性」「地域 性」が挙げられています。児童館はまさにこどもたちと共にある遊び場であ り居場所ですが、そのこどもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化してい ます。その中で児童館が利用者にとって居心地の良い場所となるために、地 域とのさらなる連携をはかるために上記の目標を掲げ職員一同誠心誠意努め てまいりました。</p> <p>行事、地域との連携についてです。例年ふらっとみなみ運営協議会の皆様 と連携し、季節感を大切に様々な行事を行っております。こどもの日・夏祭 り・三世代交流会 秋祭り・クリスマス会・節分会と、児童館や施設の魅力を 広めるための企画をたくさん実施しています。また今年度から地域団体『こ どもっと食堂』が近隣施設『とよめサロン』にて行う、こども食堂へ職員を 派遣しました。集まってきたこどもたちと遊んだり話をしたり、いっしょに 配膳をしたりカレーを食べたりして地域交流の一助として努めて参りまし た。</p> <p>次に子育て支援についてです。ちびっこ広場や子育て支援室講座は来館者 の声を取り入れ、職員間で話し合いを重ね、企業や団体とも協力して開催し ています。また今年度から多胎児の家族や妊産婦向けのおしゃべりサロンを 開催しました。更に思春期の子を持つ保護者向けの講座や中高生の居場所づ くりの企画について、地元や隣接の中学校と協力した告知活動にあたりまし</p>

	<p>た。父母クラブは役員体制がなくなったことから、児童館職員が主体となって運営しています。近年はどの年代にも集団遊びが難しいこどもがおり、安全にクラブを開催するために職員一同思いをひとつにして対応しています。</p> <p>最後に多彩な遊びのプログラムについてです。</p> <p>今年度はアート企画を年4回計画しました。大きな紙に絵を描いたり、シャボン玉を使って模様を作ったりするような、家では行うことが難しいことにチャレンジすることで、参加したこどもが自分を表現したり創造性を養ったりすることができると思っています。</p> <p>また、地元力士とお相撲をとったり、コンサートで生の演奏に触れたり、お仕事体験をしたりすることは大人にとっても非日常的なことで、施設の認知度を高め来館の動機づけにつながります。</p> <p>一方で当館が大切にしているのは、イベントや行事のない日常の利用者との信頼関係です。入口でのお出迎えから帰りのお見送りまで、共に過ごす時間を大切にしてきました。それは乳幼児親子だけでなく小学生から中高生に至るまで変わりません。来館者とのかかわりを積極的に行き、気軽に立ち寄れて何でも話し合える環境を築いてきました。これからもこどもの地域拠点としてより細やかな支援を行い、誰もが気軽に「ふらっと」立ち寄り、すべての方々が「ほっ」とひと息つける居心地の良い空間づくりを目指し、当館の目標でもある「すべてはこどもたちの為に」という想いが職員だけでなく、保護者や地域の方々にも広がっていく、そんな社会づくりの一助になればと考えております。</p>
<p>小 牧 児 童 館</p>	<p>小牧児童館では館の目標をこどもが主役になれる児童館、遊びを通して地域とつながるとして、運営の取り組みを行っています。</p> <p>こどもに対しても、大人に対しても「人との関わり」を大切に接することを心掛け、多くの方に来館していただきました。利用者の年代傾向としましては小学生の利用が最も多く、中学生、高校生の利用も増加しています。中学生に関しては不登校児の利用もありました。</p> <p>児童館でスクールソーシャルワーカーの方と中学の先生が面談を行うこともあり、こどもからの「相談の場に児童館職員も同席してほしい。」という声を受け、実際に同席しました。職員がそばにいて安心できる空間を作れていると思いますし、そうなるためにはこどもとの信頼関係が大切だと思います。</p> <p>現状報告としましては資料1-3をご覧ください。</p> <p>安心できる居場所づくりの活動として、昨年度からのこども食堂の継続に加え、みなくる寺子屋をはじめました。みなくる寺子屋では月に1回、宿題をみんなでやってからおやつ作りを実施しています。</p> <p>今まで宿題をやらなかった子が寺子屋をきっかけに毎日児童館に宿題を持ってきて、遊ぶ前に宿題をし、早く終わると職員に「問題を出して」といっ</p>

	<p>たりする様子が見られます。</p> <p>また、おやつ作りでは子どもから「みんなで食べるとおいしいね。」という声もあり、毎回20名前後の参加者がいますが、その要因として児童館はだれでも自由に来られる場所であるため、参加しやすいのではないかと思います。</p> <p>子育て支援に関しては、今年度は新たな取り組みとして、1歳児2歳児の登録制クラブを開始いたしました。</p> <p>毎回同じ顔触れで活動することで、母親同士のつながりや月齢が上がってくると子ども達もお友達と認識し、楽しそうに親子が過ごす姿がみられます。また年齢に応じた活動を提供することで、みんなで成長を見守ったりするなど暖かい雰囲気の中で進めています。</p> <p>地域との連携にも力を入れて取り組んでおり、保育園、小学校、中学校との連携に加え、今年度は小牧高校、誉高校の学生のボランティアの受け入れも行いました。誉高校の学生は高校でイベント部を立ち上げたいという事で実績作りの場を提供し協力し、また、放課後子ども教室のお手伝いとして小牧小学校へ2回、小牧原小学校へ3回伺いました。</p> <p>地域活動としては、今年度は小牧小学校区地域協議会のお手伝いに加え、小牧原小学校区地域協議会からの依頼もあり、お手伝いをさせていただきます。地域の方に児童館を認識していただき、地域の一員となれるように努力していきたいと思っております。</p> <p>また防災に関しては「つながる防災プロジェクト」の活動に小牧児童館の企画が採択されており、地域、企業と連携して進めていますので、こちらについては来年度の運営委員会で活動報告させていただければと思います。</p>
<p>西 部 児 童 館</p>	<p>資料は「1-4」をご覧ください。</p> <p>西部児童館のスローガンは「みんなが笑顔になれる場所」であり、これを念頭に職員一同、運営に取り組んでいるところです。</p> <p>令和6年は、とにかく楽しいこと、家庭では出来ない事を中心に、こどもの意見を運営に反映させながら、多くの事にチャレンジした1年でした。</p> <p>こどもの意見から出た「カフェ」は夏祭りの中で行いましたが、子ども達が店員となって来館者をもてなすもので、お金のやり取りを実際にしながら、来館者の皆さんにも楽しんでいただきました。</p> <p>このほかにも、火起こしをして、その火を使ってアルミ缶でご飯を炊いて食べるという企画も、子ども達から「来館者にも振舞いたい」という話があり、子どもたちなりに安全を考え、ポスターや看板の作成、当日の動きなど考えながら実施する事が出来ました。</p> <p>今回の会議資料には間に合いませんでしたが、餅つきやトーチトワリングの発表など、子どもプランナーを中心に様々な活動を行うことも出来ました。また、活動以外にも、子ども達からの要望の多かった漫画の購入、バド</p>

	<p>ミントネットの購入、人生ゲームといったボードゲームを導入するなど、こども達の意見を取り入れながら進めております。</p> <p>ただ、こども達自身が意見表明をして「自分たちの居場所を作っていく」という意識は低く、そういった経験が少ないのか「自分達の意見によって変える事が出来る」と思っていない子がほとんどです。</p> <p>与えられたものを与えられたようにしか出来ない、消費型の行動に慣れ過ぎて「自分が意見を言っても良い、言ったことで変わるかもしれない」という土壌がまだまだ出来ていないのが現状です。</p> <p>こども達が考える余地を残し、自分の考えが目に見えるものになる経験の積み重ねにより、その土台を作って行きたいと思っています。</p> <p>また、意見表明が出来ない乳幼児に対しても、児童館としてどのように「こどもの最善」を考えて行くのかも課題です。時代の傾向でもありますが、「こどもを預けたい」という保護者のニーズは多くなる一方です。</p> <p>確かに子育ては大変で思うようにならないことのほうが多く、自身の時間が制限されることが多いのも事実です。各家庭の事情もあるとは思いますが、児童館はこどもの代弁者でなくてははいけません。</p> <p>「親から離れたくない」と思う幼児はいないはずですし、大人のリフレッシュも必要かと思いますが、そのリフレッシュがこどもに還元されるべきだと思います。その為には、児童館に来る大人もこどもと一緒に楽しい時間を過ごす必要があると思っています。</p> <p>「大人が嬉しいとこどもも嬉しい」を合言葉に、親子でふれあい、楽しめる企画も引き続き実施していきたいと思っています。</p> <p>昨今、子育ての大変な面ばかりクローズアップされ、マイナス面ばかり強調されている事が私としては気になる場所ですが、こどもを預け、こどもから離れて「嬉しい」ではなく、こどもと一緒にいて「楽しい」、こどもがいて「良かった」と思えるようにしていく事が、これからの子育て支援に必要な視点であると考えます。</p> <p>令和7年度も引き続き、こどもファースト、こどもの最善の利益を追求出来るように、こどもはもちろん各方面の方々にもご意見を頂戴しながら、児童館に関わる全ての人が笑顔になれるような運営を目指してまいります。</p>
味岡児童館	<p>味岡児童館は『みんなでつくろう！ぱるもあじおか』を目標に、こどもの居場所・子育て拠点・こどもの主体性を念頭におき、活動を行ってきました。</p> <p>資料1-5にあるように6年度も様々な取り組みを行ってきましたが、新たに取組んだことの中に、学校の長期休業中に実施した「こども食堂」の開催があります。</p> <p>児童館内の開催だけでなく、近隣の会館などでも開催されましたが、どの回においてもこども達を見守る形で関わりました。</p>

	<p>こども食堂の食事提供者が味岡児童館の利用地区にお住まいということもあり、困っているかもしれない児童について事前に教えていただくこともありました。こういった活動の中から地域の人がこども達と時間を共有することでこども達が安心し、心豊かな暮らしにつながっていくためには、地域との連携が重要であると感じました。</p> <p>令和6年度はこどもの声を大切にしたい運営となるよう心掛けてきました。</p> <p>日々こども達からたくさんの声が届きます。“やってもらう”から“やってみる”という挑戦に向かうようサポートをし、自分のアイデアを企画化し、自ら運営することが増えました。また、小学生低学年を中心にスタッフとして役立ちたいといった自己表現、自己実現の場ともなっており、ぱるもあじおかをより身近で大切な場として、居場所として毎日やってくるこども達が多くいます。</p> <p>ほかには、居場所づくりも力を入れて取り組んできた事業のひとつであり、開館時間を延長し中高生限定の利用とする「アオハルナイト」では、学校には気が向かないものの、アオハルナイトへは皆勤しており「開催日を増やしてほしい」とこどもから要望書が出るほどです。そういった様子を見ると、心の内を安心して話せる時間として定着しているように思えます。また、今後は日中でもそういった時間や居場所づくりが課題になると思っております。</p> <p>最後に、こどもだけでなく、毎日こども達に向かい合っているママやパパにとってもぱるもの存在が味方であり拠り所となれるよう心のサポートに対しても心掛けています。</p>
<p>篠岡児童館</p>	<p>篠岡児童館では「児童館で遊ぼう・楽しもう」「地域と共に育ち合う児童館」ということを大切におりますが、令和6年度は、こども達、ママ達の「やってみよう！」という声を形にし、より楽しめる児童館、当たり前みんなの居場所となることを特に意識して運営してきました。</p> <p>例えば、コロナ渦で毎年恒例の肝試しが開催できなかった際に、館内に隠された妖怪を探し出す「ようかいをさがせ」という遊びに形を変えたのですが、こども達から「自分の描いた妖怪を探してもらいたい」といった声があり、今では館内の至るところにこども達が描いた妖怪が隠れています。</p> <p>児童館に遊びに来たこども達は次々に増えてく妖怪を探すのを楽しみにしており、絵を描いたこどもも大変満足そうにしているといった事例があります。また、あそびだけでなく、児童館でのルールやイベントに関してもこども達やママ達の声聞き、進めて来ました。</p> <p>講座に関しても小学1・2年生対象の体育あそびクラブを見ていたこども達から「3年生の体育あそびクラブも作って欲しい」という声や、外国籍のこどもがクラブに参加したくても保護者側の言葉の壁の関係で参加が難しい場合もありましたので、小学生が集まり集団で体を動かしてあそぶ「このゆ</p>

	<p>びと～まれ！」をはじめました。</p> <p>参加者は小学校低・中学年が多く、学校や学年が違っても仲良く遊んでいます。遊びによっては高学年や中学生も一緒に遊んだこともありました。</p> <p>また、夏には水遊びの企画や隣にある消防署への見学にも行きましたが、支援室を利用されるママ達との会話がきっかけの一つでした。</p> <p>今年度、こども達やママ達との対話を大切にしてきたことが、児童館でより楽しめ、居心地のいい場所に繋がると感じました。日頃、支援室を利用されるママ達から様々な相談を受けるのも支援室が居心地のいい場所であり、支援員との信頼関係が築けているからだと思っています。一方、中高生の利用が伸び悩んでいますので、中高生との対話も大切に、より多くの中高生の居場所となるよう努めていきたいと思っています。</p> <p>今年度も地域のサポーターや中学生のボランティアの協力のもと、児童館まつりや肝試し、サンデーコンサートといったイベントを開催することができました。</p> <p>来年度はイベントに加え、日々の遊びや活動においても地域の方との関わりが持てるようにしていきたいと考えています。</p>
<p>大 城 児 童 館</p>	<p>大城児童館では地域の児童館として楽しさを作り出し、分かち合うというスタンスで運営を続けています。年3回の地域運営協議会でも地域の特性を話し合いながら情報共有し、より良く変化しながら地域と共に進んでいます。</p> <p>子育て支援室の充実は、母親とこどもの来室だけでなく、父親とこども、祖父母と孫の来室増加にも表れています。また、近隣だけでなく少し遠方からの利用や、長期休暇時や里帰りの来室もみられ、それらは「また来たい」という気持ちの表れだと感じています。</p> <p>来室によって同世代のママと談笑したり、支援員に悩みを相談することもあり、心をリフレッシュする場にもなっています。</p> <p>平日の一時預かり事業も2年を経過し、広く認知されコンスタントに利用されています。1日原則3組まで、最大4時間の預かりですが、多い月は35組の利用があり、1月半ば時点で220組を超える利用があり、半分近くがリフレッシュ利用です。子育ての息抜きをし、再び子育てに向き合えるように利用されています。親子にとって児童館が居心地良い場所として存在し、次へのエネルギーを補充する場所にもなっていると感じます。</p> <p>児童館は小学生にとっては放課後や休日に友達と安心して遊べる場所であり、中高生にとっては勉強のための学習室利用、音楽室利用、フリースペースで友達と過ごすなど臨機応変に利用できる場所になっています。</p> <p>地域ぐるみの行事に参加したり、地域団体や市と共催のこどもマルシェを開催したりするなど、他にも地域のサポーターも活躍のわらべかんまつり、わらべ縁日など様々な活動を計画・発信し、多くの方々が集うことができ</p>

	<p>います。</p> <p>東部地区はこどもの数が減少していますが、児童館はよく利用していただいています。今後も地域で集える居場所であるようにしたいと考えています。</p>
北里児童館	<p>令和6年度は「みんなが主役。心のビタミンC～たのしい・うれしい・私らしい～」と目標を定めました。成長になくってはならないビタミンのように、児童館も子どもたちにとってなくてはならない場所に、楽しく、嬉しいことがいっぱい、自分らしくいられる場所にといい思いを込めました。</p> <p>いつ来ても楽しい、一人で来ても楽しいと感じてもらえるよう、様々な形で遊びの提供を行ってきました。レクキッズやボードゲーム Day では異年齢でも交流できるような見守りと声掛けを行い、こどもプランナーでは学年の違う子どもたちが力を合わせて一つの物を作り上げることを楽しみました。</p> <p>こどもプランナーは、今年は児童館の夏祭りで半分のブースを担当してもらい、趣向を凝らしたあそびを提供してくれました。</p> <p>力を入れた取り組みとしてこどもの声を取り入れることを大切にしました。以前から子どもたちから声があがっていた「館内でおやつを食べたい。」という事をかなえるべく、“児童館でお菓子を食べ隊”を結成し実現に向けたルール決めを行いました。6年生が中心となり、場所や時間など細かいルールをしっかりと決め、夏休みからおやつタイムを始めることが出来ました。</p> <p>これまでは建物の外でおやつを食べていたのですが夏の暑さや冬の寒さに耐えなくてもいい環境は私たちも見ていて安心が出来るものです。おやつタイムは子どもたちからの要望もあり、夏休みが終わっても、学校が休みの日は継続して行っております。</p> <p>特別イベントも充実させるよう努めており、バック転教室も子どもたちからやりたいと声があがっていたイベントです。タイミングよく講師を紹介してもらえたことで子どもたちの気持ちの温度を下げる前に開催することができました。</p> <p>支援室はこれまで同様、一回一回の来館を大切に、親子に寄り添った対応を心掛けてきました。広場や誕生会の開催は継続しつつ、ほかに記念日カードの設置を行いました。立つことができた記念日、卒乳の記念日など、保護者もずっと覚えていたい瞬間を記念日カードにし残しておくことができ、好評です。</p> <p>また、今年度は地域との繋がりも強いものになったと感じています。小木小学校区では初めて地域協議会で開催したゲートボール大会に参加させていただき、これまであまり接点のなかった地域の方へ児童館をアピールできたと感じています。北里 Festival は今年で3回目の開催となりますが、参加者も増え、児童館のブースを楽しみに遊びに来る子どもも多いです。地域の方と一緒にイベントの中心に関わらせていただき、地域の方とこれまでよりさらに</p>

	<p>強い関わりが持てたと感じております。他にも、北里小学校・北里中学校の行事へ積極的に出向き、児童館で子どもたちと学校の話をし、子どもたちとの距離をさらに縮められていると感じています。</p> <p>子どもの意見をたくさん聞き、子ども主体の児童館づくりに努め、居心地のいい、なくてはならない場所になれるようこれからも積極的な活動を行っていきたいと思います。</p>
<p>子育て世代包括支援センター</p>	<p>続きまして、(2) 令和6年度児童館・子育て支援室利用状況について報告します。お手元の資料2をご覧ください</p> <p>表の上段は令和6年度の12月までの9か月間、下段は令和5年度一年間の利用人数となっております。「個人任意利用者数」は来館人数、「集団指導等利用者数」はクラブ、講座、工作等職員が関わって指導をした人数になっています。</p> <p>次に支援室の利用状況について説明します。資料2-2をご覧ください。こちらの表も上段は令和6年度の12月までの9か月間、下段は令和5年度一年間の利用人数となっております。</p> <p>子育て支援室は単に子育て親子が集う場を提供するだけでなく、子育てに関する相談や情報提供などを行ったり、親子の交流を通して親同士の支えあいや子ども同士の育ちあいを促す役割があります。</p> <p>児童館、未来館に来館される保護者の傾向としてイベントがあると友達を誘いあって参加される方も多いと感じています。様々な講座や行事の中で親子にとって居心地の良い場所であることを知ってもらいながら、利用者同士がかかわれるように取り組んでいます。</p> <p>また相談に関しましても日ごろから暖かい雰囲気由来館者を迎え、傾聴を心掛け親子に寄り添いながら子育てに向き合えるように取り組み、各機関と連携をとりながら支援につないだり、見守ったりしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま令和6年度の現状報告並びに利用状況についてご説明をいただきました。</p> <p>各児童館が多岐にわたって工夫をされ、一生懸命頑張ってみえることが伺えますし、地域の特色等も生かしていこうという熱意も見られました、それでは委員の皆さん、報告事項に対し質問等ありますか。</p> <p>それでは私からひとつ。</p> <p>利用者数実績のうち、中高生の利用者数を見てみると小牧南、小牧、西部児童館は利用者数が増加していますが何か特別に取り組んだことはありますか。</p>
<p>小牧児童館</p>	<p>近隣に未来館や中央図書館があり、中高生の利用については例年悩んでおりましたが、小学6年生の時に利用していた児童が進学後も継続して遊びに</p>

	<p>来たり、高校生などは図書館が混み合う時期に小牧児童館の学習室が空いているということで来館者数が増えています。</p> <p>昨年度に引き続き、丁寧に声掛けも行っております。</p>
小 牧 南 児 童 館	<p>今年度は中高生の集いの場を作る取り組みをとということで、スマホを触ってもよい、お菓子を食べてもよい、みんなでゆっくり遊ぶのにちょうどよい居場所が作れたと思います。</p> <p>西部児童館もですが、コミュニティセンターと一体化しているため、コミュニティセンターに学習目的で来られた児童に声掛けをし、次第にカフェ企画への参加者につながったと考えております。</p>
委 員 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんの取り組みを聞いていると、課題に対し一歩ずつ進んでいるように感じます。</p> <p>学校側に対しお願いや依頼したいことあればぜひ。</p>
所 長	<p>情報共有で1点。</p> <p>校長会議にて校長先生たちに、こども家庭庁から「じどうかんもあるよ」ということで、家に一人で引きこもっているぐらいなら児童館へ行く手もあるよということをお伝えして参りました。</p> <p>それに合わせてこまきこども未来館や児童館の市ホームページも見やすく作り直しております。</p> <p>学校側からすると「学校に行かなくてもいいから児童館に行きなさいよ」とはなかなか言えない部分ではありますが、児童館の存在を広く知ってもらうようお伝えして参りました。</p>
委 員 長	<p>ありがとうございます。</p>
副委員長	<p>私からも1点。</p> <p>小牧児童館の報告の中に不登校児の来館というようにお話がありましたが詳しくお聞きしてもよろしいでしょうか。</p>
小 牧 児 童 館	<p>その児童については、5月ぐらいに学校でトラブルがあり、そこから学校に行けなくなってしまった様子。</p> <p>児童館に遊びに来て「お腹がすいた」と繰り返すため、事情を聞くと家には食べるものがないといった家庭の事情がみられ、児童館での食べ物の提供は難しいため、学校に行けば給食が食べられるかもなど登校を促してみるもハードルが高いといったやり取りをしました。</p> <p>その後、児童から「学校ではなく児童館内で話し合いができるなら。」と話があり、学校へ連絡したところ、最終的にスクールソーシャルワーカーも含めて児童館で話をする事となり、その際には、「不安だから児童館職員にも同席してほしい。」と声をかけられ同席させていただきました。</p>
副委員長	<p>その子にとっては良い経験につながっているかと思しますので、今後も継続していただければと思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>不登校児童数というのは11年連続で増えております。</p> <p>学校側も昔から頭を悩ませており使い古された言葉で「一人を救う、新たな一人を出さない」というのがあります。数からすると一人二人は本当に少ないかもしれませんが、この暖かい取り組みが重要ですので、こども達の話を引き細かく聴いていただけたらと思います。</p> <p>それでは(3)利用者アンケートについて報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>お手元の資料3をご覧ください。</p> <p>指定管理者制度を導入している児童館においては、全館共通様式を使用したアンケートを年1回実施することにより、各館の利用者満足度を比較するなど、児童館運営の統一的な質の向上に努めることを目的に実施しております。</p> <p>アンケートは、児童館を利用する児童及び保護者を対象として、小学生、中学生以上、保護者の区分に分けて、令和6年12月1日から12月22日までの期間で実施いたしました。市内全8館で、小学生424人、中学生以上349人、保護者401人から回答をいただきました。</p> <p>最初に資料3-1、小学生のアンケートであります、「児童館は楽しいですか?」や「好きな遊びはありますか?」といった質問に対し、「はい」と回答が昨年度に引き続き90パーセント以上となっております。</p> <p>また、「児童館で先生とお話ししますか?」「児童館の先生は遊び方を教えてくださいませんか?」「友達と喧嘩したときや困っているときに先生は声をかけてくれますか?」については昨年度と比較してみると「いいえ」の回答割合が増加しております。自由記述を見てみますと「児童館の中でスマホを使いたい。」「ケンカしないように厳しくルールを決めてほしい。」などといった意見がみられ、これは児童館を利用していく中で感じた「より良くしたい」という思いや、人との交流の中で生じた問題解決における、児童館職員に対する期待が大きいことの証であると考えており、今後もこども達の意見や思いに耳を傾けより居心地の良い居場所となるよう改善してまいります。</p> <p>続きまして、中学生以上のアンケートについてですが、小学生のアンケート結果と同様に概ね昨年度に引き続き「はい」の回答割合が多いものの、一方で「わからない どちらでもない」の回答割合が増えております。自由記述を見てみますと「どんな時に児童館にくるか」という問いについては、“友達と遊ぶとき”“暇なとき”“勉強や息抜き”といった意見が多くみられ、「児童館について思うこと」では「中高生タイムがいい、アオハルナイトでお茶とかお菓子があるのがうれしい」など、児童館が独自に実施している中高生限定利用の企画が、中高生にとっても児童館が居場所であることの認知につながっていると伺えます。また、「児童館を利用して思うこと」では「Wi-Fiがほしい」という意見が多く、今後の運営については、児童館ガイドラインの改正を踏まえ、こどもの多様なニーズに応えるため、SNSを活用した</p>

	<p>交流を検討していきます。</p> <p>次に、保護者のアンケートについてですが、質問1の「お子さまは児童館に喜んで行っていますか？」から質問6「児童館は衛生に配慮されていますか？」まで、95パーセント以上の方が「はい」と回答しており、昨年度に引き続き高い水準で評価していただけております。</p> <p>また、自由記述でも「なくてはならない場所・癒しの場所」「育児について不安なことを相談できる場所」「こどもだけでなく母親同士の交流もできる交流の場」といったご意見をいただいております、児童館が単なる子育て支援拠点ではなく、利用者同士も繋がれる交流の拠点としても機能していることが伺えますので、今後も地域に根差した児童館事業を継続して参ります。</p> <p>一方で、全体的に高い水準を維持しつつも「いいえ」の回答割合が増加している項目もあり、自由記述にて「マナーの悪い親を見ると少しげんなりする。職員さんからの声掛け等、難しい状況があると思いますが頑張ってほしいと思います。」や「こどもの発達のことについて先生から聞かれて答えるのが辛かった。」といったご意見もありました。</p> <p>各利用者から頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の運営がより良いものとなるよう取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>以上、簡単ではありますが、児童館利用者アンケートの報告とさせていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>各館の頑張りが高い満足度につながっているとは思いますが、何かお気づきの点等ありますか？</p> <p>私から1点、中高生以上のアンケート項目について少し項目が少ないようにも感じますので、「児童館はあなたの居場所のひとつになっていますか？」といったような質問項目を追加してはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>そういった新たな質問項目も入れていきたいと思っております。</p>
中島委員	<p>マイナス意見のパーセンテージが増えたというように見えますが、それだけ児童館の存在が“当たり前”になっているものだと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほかご意見、ご質問等よろしいでしょうか。</p> <p>ないようですので、次に移ります。</p> <p>(4) 児童館ガイドラインの改正について、(5) こども計画の策定について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>児童館のこどもの居場所としての更なる機能強化を目指すため、こども家庭庁より令和6年12月3日付けで児童館ガイドラインの改正について通知がありました。これを受け、令和7年4月1日からは新しいガイドラインで</p>

	<p>の運用が始まります。</p> <p>お配りした資料4-1、4-2をご覧ください。</p> <p>資料4-1は改正後のガイドライン全文、資料4-2は改正内容についての資料となります。なお、会議時間が限られておりますので、改正内容のうち、主だったものを報告させていただきます。</p> <p>資料4-2をお願いします。</p> <p>1枚めくり、1の(3)こどもの権利に関する内容では、こども基本法や児童の権利に関する条約の内容などを踏まえ、居場所づくりに関わるおとなが、広くこどもの権利について理解し、守っていくとともに、権利侵害時の対応を含めこども自身が「こどもの権利」について学ぶ機会を設けることも重要としており、また、児童館職員自ら進んでこどもの権利について学習を行った上で活動や支援をするとともに、こどもの権利や虐待・性被害などの人権が侵害される事案が発生した際に適切に対応できるよう運営規定を定めることとなっております。</p> <p>次に3の活動内容についてであります。利用しやすい居場所づくりやあり方に関する内容として、児童館の機能・役割を果たしていく上では、こども目線での見直しが必要であり、とりわけ、中・高校生世代に向けた支援を行う上では、SNS等を活用した相談支援、交流の場の提供や、児童館内におけるWi-Fi等のネットワーク環境の整備、開館時間の柔軟化の検討を行うことも必要である旨が示されております。また、居場所づくりに関連して、災害発生直後には、地域のこどもの一時的な安全確保の場となることが求められ、被災した地域のこどもの居場所・遊び場として機能するよう努めること、その際には、地域住民等との協働により、持続可能な活動を目指すこととあります。</p> <p>なお、児童館でのWi-Fi利用につきましては、こまきこども未来館において、これから試験的に実施し、こども達の意見を聞きながらともにルールを策定し、その後、各児童館へ展開していきたいと考えております。</p> <p>簡単ではございますが、以上で、児童館ガイドラインの改正についての報告となりますが、児童館に対するニーズの多様化や、求められる役割などは年々増えてきており、市として、今後もすべての児童が安心して学び、遊び、交流できる大切な居場所となれるよう努めて参りたいと考えております。</p>
事務局	<p>続きまして資料5をご覧ください。</p> <p>本市では、現在、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「小牧市こども計画」の策定が進められております。</p> <p>こどもまんなか社会の実現を目的として策定する小牧市こども計画には子ども・子育て支援事業計画などを包含しており、計画案のうち、児童館に関する部分を抜粋いたしました。</p>

	<p>児童館ガイドライン改正を踏まえ、これまでの児童館運営の内容に加え、新たにこどもの権利や意見の尊重に関する内容、中高生の居場所づくりや、配慮が必要な子どもへの取り組みとして「児童館における外国にルーツを持つ子どもへの支援」や不登校対策などの取組を追加しております。</p> <p>また、こども家庭庁の「地域子育て相談機関設置要綱」に基づき、本市では児童館を地域子育て相談機関と定め、すべての子育て世帯や子どもが身近に相談することができる体制を整えることとしましたので、今後も引き続き中学校区に1か所を目安として児童館を整備することとし、各行政機関と連携を図り、支援を必要とする児童や利用者に対し必要な支援につなげられるよう取り組むことを明記しております。</p> <p>なお、「小牧市こども計画」につきましては、2月17日までパブリックコメントを実施しており、市ホームページでもご確認いただけます。</p> <p>以上、報告となります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご質問等がありますか。</p>
古賀委員	<p>資料5の10「児童館における一時預かり事業」に「大城児童館」と記載がありますが何か理由はありますか？</p>
事務局	<p>本市では、子育て世代包括支援センターの他に、中心地から離れた部分ということで大城児童館でも実施しております。</p>
古賀委員	<p>他の児童館でも一時預かりは実施できるようになっていくのでしょうか。</p> <p>また、大城児童館で実施しているということは、環境が整っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>他の児童館でも実施できないかということで検討はしておりますが、安全に実施していくために人の配置や場所の確保などといった課題をひとつずつ解消していきたいと考えております。</p> <p>環境については、大城児童館が単独館であり、部屋面積などの条件がそろっており、また東部地区の住民が気軽に子育て世代包括支援センターの一時預かりを利用するのは遠方で難しいといった地域性などがあり最初に実施することとなりました。</p>
古賀委員	<p>少し戻りますが、児童館利用者アンケートの保護者回答の中に大城児童館に対してマイナスな意見もありますが、問題ないという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>やはり一部ではマイナスなご意見もいただいておりますが、全体をとおしてみると高い評価を受けております。もし、何か問題があった場合には行政も間に入って指導等いたします。</p> <p>一方で、こういったご意見は、新たな気付きに繋がる大切なことであり、こういったご意見をしっかりと受け止め、今後の改善につなげていきたいと考えております。</p>

<p>委員長</p>	<p>年々児童館に求められる役割は増えつつも、限られた予算や人材をうまく活用しながらまた来たくなる、楽しいといった笑顔があふれる児童館を基本に頑張っていただけだと思います。</p> <p>こども計画でも「新規事業」がいくつかあり、各館特色を活かして取り組んでいただければと思います。</p> <p>議事に移ります。</p> <p>議題（１）令和７年度児童館活動方針・活動目標（案）について、事務局説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料６をご覧ください。</p> <p>児童館ガイドラインの改正を踏まえ、小牧市児童館活動方針の全体像としては、これまでの内容に加え、「（５）職員自ら進んでこどもの権利について学習し、支援や活動を行う。」「（６）こどもの意見を尊重し、権利の主体であることを実感できるよう、こどもの意見を聴取する機会を設ける。」を新たに追記するとともに、重点的に各児童館が取り組む具体的な目標を記載しました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>質問や意見はございませんか。</p> <p>それでは、私から２点。資料６の活動目標「（６）こどもの意見を尊重し、権利の主体であることを実感できるよう、こどもの意見を聴取する機会を設ける。」のうち、字が徴収となっておりますので、聴取に修正をお願いします。</p> <p>もう１点、各館の活動目標について、素晴らしい言葉が並んでいてどれも大切なことだと思いますので、現状報告をまとめるなどのタイミングでこの部分について評価してもらえるといいと思います。</p> <p>では、続きまして（２）令和７年度児童館クラブ活動・行事計画（案）について、事務局をお願いします。</p>
<p>未来館副館長</p>	<p>それでは（２）令和７年度児童館クラブ活動・行事計画（案）について説明いたします。お手元の資料７－１をご覧ください。</p> <p>共通の関心や興味をもった子どもたちが集まって活動するものです。こどもプランナーなど、子どもたちの集まる場を計画的に設け、自分たちで企画実行できる活動もあります。それぞれの児童館で地域性を活かして活動しています。</p> <p>続きまして行事についてです。資料７－２をご覧ください。</p> <p>令和７年度各児童館の目標を目指しながら、子どもたちの様々な体験・経験ができるものを計画しています。また、各児童館地域の方々の協力のもと地域性を生かし、季節の行事や伝統行事も続けて行なっていきたいと考えてい</p>

	ます。 以上です。
委員 長	ご質問等よろしいでしょうか。
中島委員	資料7の西部児童館の「SBG」とは何の略語でしょうか。
西 部 児 童 館	S…西部児童館、B…ボード、G…ゲームの略語です。 実は児童館内に100種類以上のボードゲームがあり、中には職員もルールを把握していないものもあります。そういったものをこども達と一緒に取り組んでいけたらと思いイベントにしました。
中島委員	ボードゲームはルールの把握だけでも頭を使いますのですごくいいイベントかと思います。
委員 長	他によろしいでしょうか。 では議題(1)令和7年度 児童館活動方針・活動目標(案)については修正案、(2)令和7年度 児童館クラブ活動・行事計画(案)については案のとおり承認してよろしいでしょうか。
	委員一同 賛成
委員 長	では次に、令和7年度 児童館の子育て支援(案)について事務局お願いいたします。
子育て世 代包括支 援センタ ー	それでは(3)令和7年度児童館の子育て支援(案)について説明します。お手元の資料8をご覧ください。 先ほどの報告でもお話ししましたが、子育て支援に関する教室や講座を行う中で親子の交流や保護者同士のつながりが持てるようにかかわり、子育て支援につながっていくように行っていきたいと考えています。
委員 長	ご質問等いかがでしょうか。 特にないようですので承認ということでよろしいでしょうか。
	委員一同 賛成
委員 長	それでは(4)モニタリングシートの改訂について事務局説明をお願いします。
事 務 局	それでは、モニタリングシートの改訂についてご説明させていただきます。前回の児童館運営委員会において頂きましたご意見等を受け、様式と採点基準について、それぞれ一部変更させていただいております。 資料7のモニタリングシート様式と基準表をご覧ください。 はじめに「(1)運営業務」と「(2)維持管理業務」の所管課評価についてですが、指定管理者として仕様書などの内容を遵守し、適切に運営されていることが前提である項目が多く、児童館の自主事業のように差が出る項目ではないため、これまでの1～4点の4段階評価から、「適当」「要改善」「不適」の3段階評価へ変更いたしました。 3段階評価の評価基準については、表のとおりであり、もし仮に「要改

	<p>善」または「不適」となった場合には、所管課から改善指示を行うとともに指示内容を「改善指示の状況」欄に記載します。</p> <p>次に（３）サービスの質について、評価の視点及び項目については変更ありませんが、所管課評価を◎・○・△の３段階評価に変更いたしました。各評価の評価基準については、表の（３）サービスの質欄に記載のあるとおりです。</p> <p>なお、区分評価については、定量的な基準で判断ができるよう、所管課評価でつけられた◎・○・△の数を基に、ABCによる評価を行います。</p> <p>その後の流れとしましてはこれまで通り、児童館運営委員会において所管課評価及び児童館からの聞き取り等により、所管課の評価が妥当かを委員の皆様にご判断をいただき、最終的な総合評価を決めていただきます。説明は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>第１回目の児童館運営委員会での意見を受け、我々委員にとってもわかりやすいものに改訂しようとしていただいているかと思います。</p> <p>区分評価について定量的な基準でとお話がありましたが、どのように定量的なのでしょうか。</p>
事務局	<p>基準表の「②区分評価」において、◎の数や△の数で示しております。</p> <p>仮に◎評価が多くとも、ひとつでも△評価があった場合は、仕様書等の水準に達していないためC評価となります。</p> <p>委員の皆様には、児童館運営委員会で所管課がつけた区分評価や議論を経て総合評価をつけていただきます。</p> <p>追加で１点、先ほど、議題（１）令和７年度 児童館活動方針・活動目標（案）の際に委員長から「各館の活動目標」の評価についてご意見がありました。</p> <p>現状、活動目標に関する部分の評価項目がありませんので、モニタリングシート内「（３）サービスの質」項目に「活動目標と合っているか」という形で追加させていただければと思います。</p>
委員長	<p>早速取り入れていただきありがとうございます。</p> <p>区分評価の基準に変更等の影響はありますか。</p>
事務局	<p>基準については変わらず基準表の案のとおりいきたいと思っています。</p>
委員長	<p>分かりました。</p> <p>最後皆さんから承認を受ければ修正案という形で承認したいと思いますが、その他ご質問ご意見等よろしいでしょうか。また、児童館長の皆さんも次回からこの形式になりますがご意見等あればどうぞ。</p>
中島委員	<p>各館、こういった評価制度がなくとも向上心をもって運営に取り組んでいただけるかと思いますが、評価すると意識して改善に取り組めるかと思いま</p>

	す。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見等よろしいでしょうか。</p> <p>では、修正案のとおり承認ということでよろしいでしょうか。</p>
	委員一同 賛成
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議事については以上となりますので進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様、速やかな議事の進行にご協力ありがとうございました。</p> <p>全体を通して、ご質問等はございませんか。</p> <p>最後にご報告ではありますが、篠岡児童館の指定管理者について、今年度で指定管理期間の満期を迎えますが、次期指定管理者については、指定管理者選定委員会を経て、引き続き特定非営利法人10人村が指定管理者として指定を受けることが決定しております。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和6年度第2回小牧市児童館運営委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。事故のないように、お気をつけてお帰りください。</p>